

質問

持続可能な社会とは？ SDGsをどうやるのか？
文科省における持続可能性の定義とは？

SDGsとESD

学校でESDが本当に広まるのか？

人材育成できていないのに、上位の概念の●●できない。

小学校●●のとき、知識から上位の概念化まで求めるのは難しいのではないか。

ESDそのもの

関係性・つながりをどう捉えているのか？

学校がどう地域と関わり、グローバル・シチズンシップと取り組んでいくか

グローバルな課題を「自分ごと」「日本ごと」化していく方法とは？

ESDとグローバル・シチズンシップ

学校と社会のつながりをどう作るか？

どうやって社会に開くのですか。

開かれた教育課程 学校と地域はどのように連携するか。

学校への社会のアクターの関わり方

知識、技能の「一般化」「言語化」が身につかない子どもたちに周囲の大人（社会）ができることは？

つながり—社会・地域・国・アクター

支援センターがどのような役割を担うか

ESD支援センター＝環境中心？！

連携

文科省としてユネスコスクールをどう扱って（活用して）いくのか？
ユネスコスクールとの関係 資質

政策・国・世界

社会に開かれた教育課程

政策と実践の評価方法について

教員

- 教師が対応できるか？（不安）
- 先生が計画を作る能力
- 教師の研修（資質）あり方
- 今までの学校でのESDの取組が忙しくなり、水を差すことにならないか？
- 現場の教員への影響は？ 激変するのか？ 今までの延長でできるのか？
- 教師がどのようなESD的な発問ができるか。教師の資質・能力に対してどのような教師教育・教師研修を行うかの予定
- 現場の先生方にESDの意義や楽しさをいかに理解してもらうか？
- 現場の先生方に今回の改定の趣旨をどう伝えていくのか。
- 学校の中での教員・教科間の連携をどう作るか？

カリキュラムマネジメント

- 各学校で時間割変更のできる幅は（カリキュラムマネジメントといわれているが）どれくらい知られていて動きそうなのか？
- カリキュラムマネジメントでは例えばESDカレンダー的な他教科・時間とのかわりをどう位置づけるか？
- カリキュラムマネジメントの範囲は？
- 誰がカリキュラムマネジメントをするのか？ できるようになるのか？ 例えば ESDカレンダー？
- カリキュラムの作成 多忙の中でどのように行うか（地域性特徴）
- 社会に開かれた教育課程
- 新学習指導要領は、高校教育こそ変えていこうという方針がいわれている。高校ではESDの要素がどの分野で濃く求められていくことになるか？

英語教育との関係は？

- 英語（教科）との関係は？
- 英語教育に使われるのですか？
- 地域に開かれた教育課程といったときに昨年の中教審答申では地域づくりとかのフレーズがあったが、このあたりはどうか？

学習指導要領と学校の自主性

- 学校目標の設定は何か変わるのですか？
- 自校の教育目標も見直すべき
- 学校における「目標」設定のプロセスは変わるのか？
- 学校の「目標」と地域の「課題」はどう関係するか？ 関係できるか？

総合的な学習の時間との...

- 70時間（2時間／週）の総合的な学習の時間だけで足りるか？
- つかみーしらべー仮説ー実験ー調査の時間が確保できない。放課後や土日の活用が必要。
- 総合的な学習の時間が減る中で、今回の改訂をどのように入れ込むのか？
- 総合的時間数の確保が大切（移行期）
- 総合的な時間では深いところまで学べるのか。概念化するための教員の知識・技能、時間があるか？
- 総合的な学習の時間の先ほどの例の「一般化」の根拠は？ 安易な帰納的推論は危うい
- 小一→中一→高と各段階の総合の位置づけは？